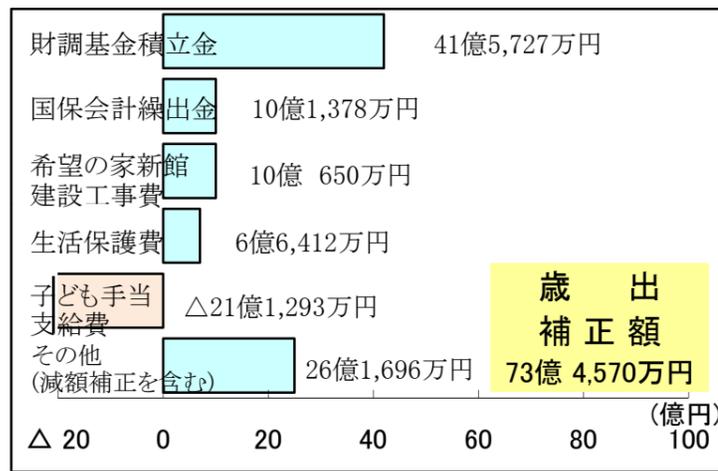
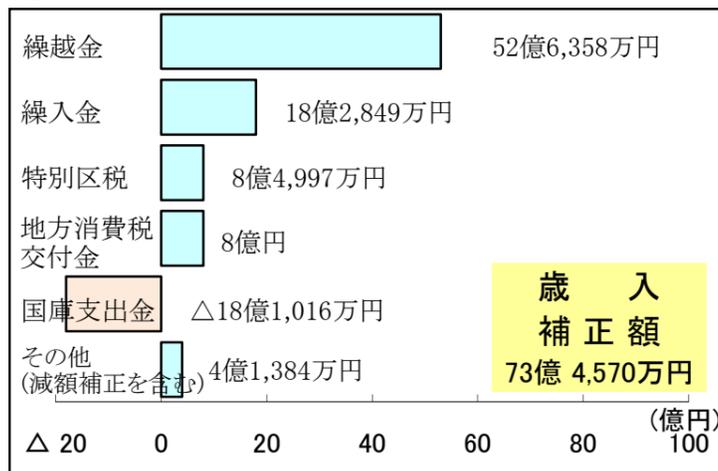


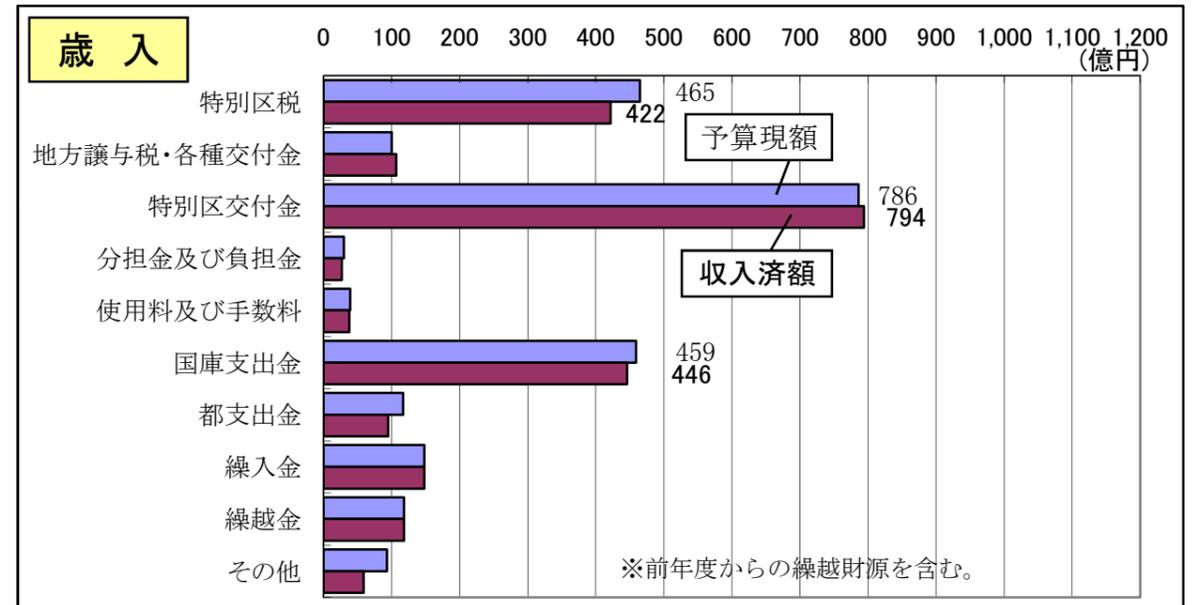
財政状況の公表 (23年度下半期) 概要版

※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

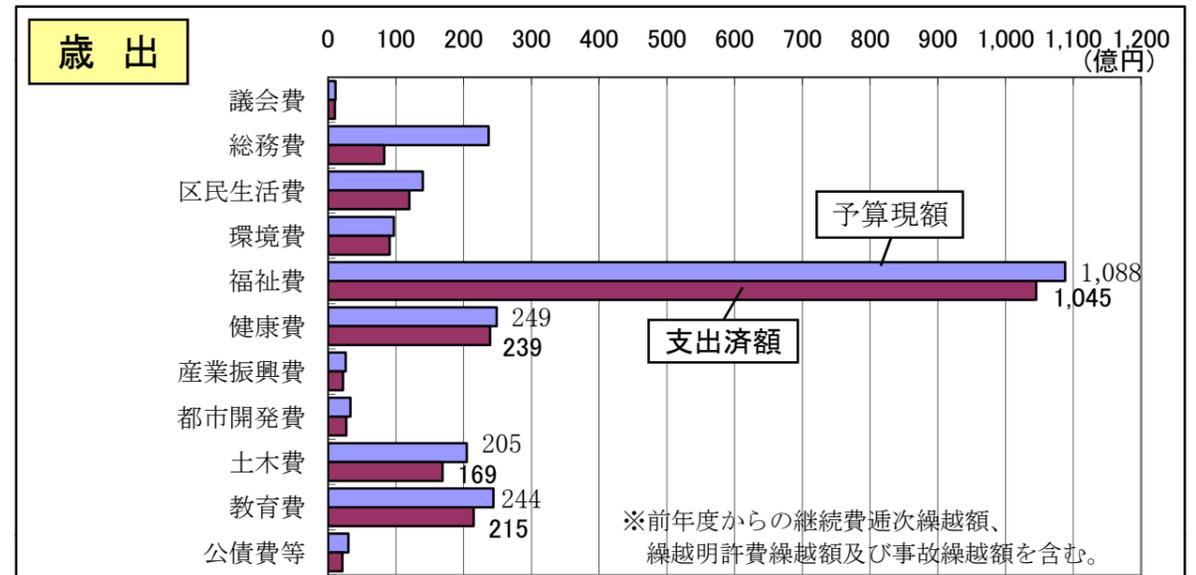
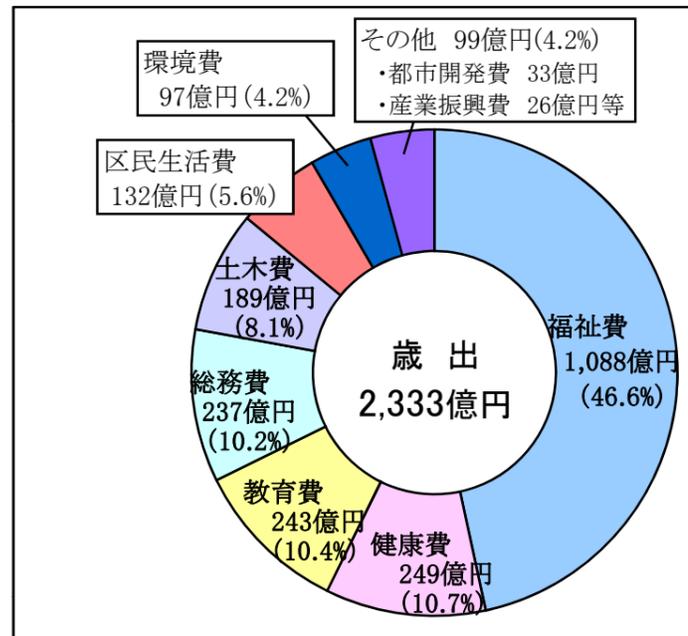
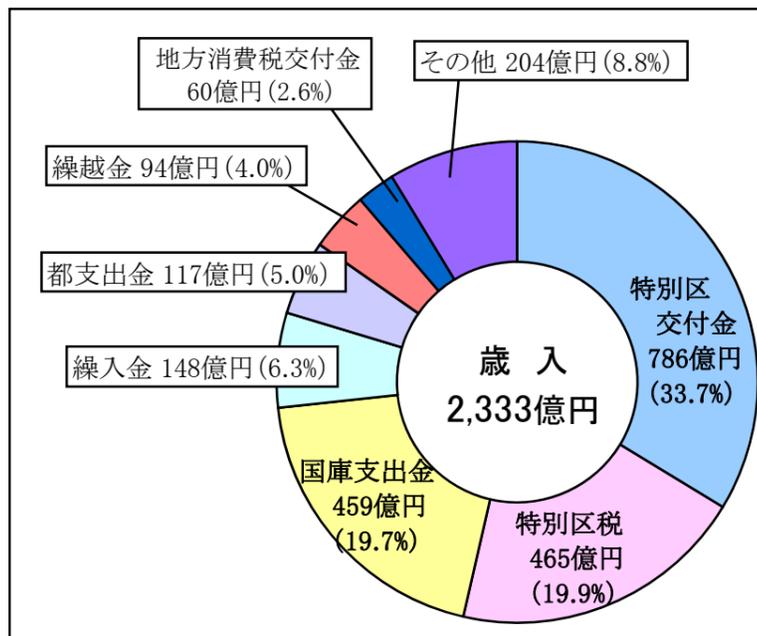
① 23年度補正予算 (10月~3月) のあらし 一般会計「2号~5号補正」の概要



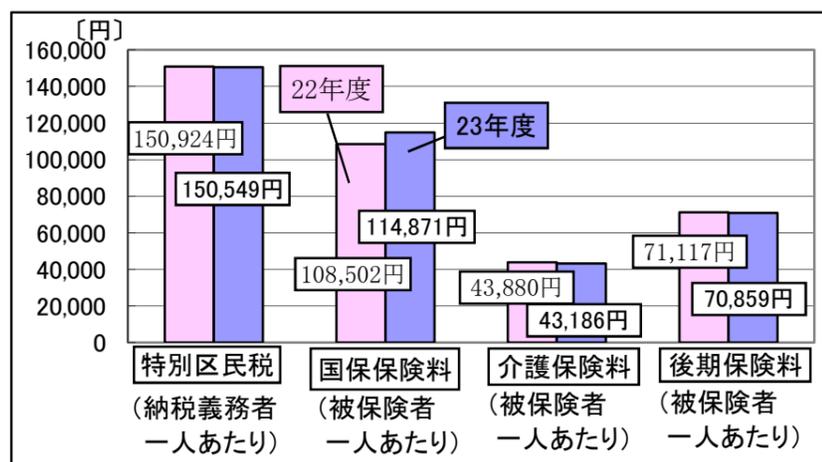
② 23年度予算の執行状況 一般会計 (平成24年 3月31日現在)



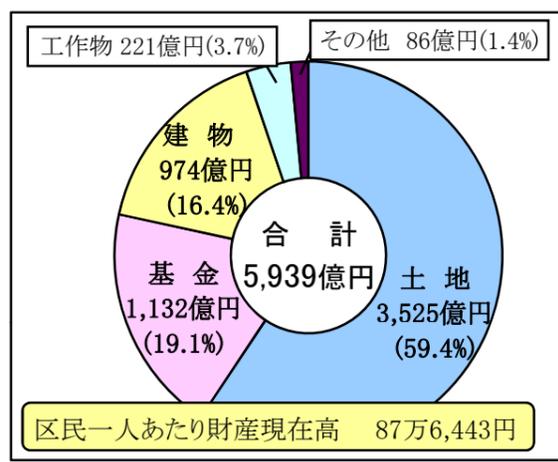
補正後の一般会計予算の構成



③ 区民の負担概況 (平成24年3月31日現在)



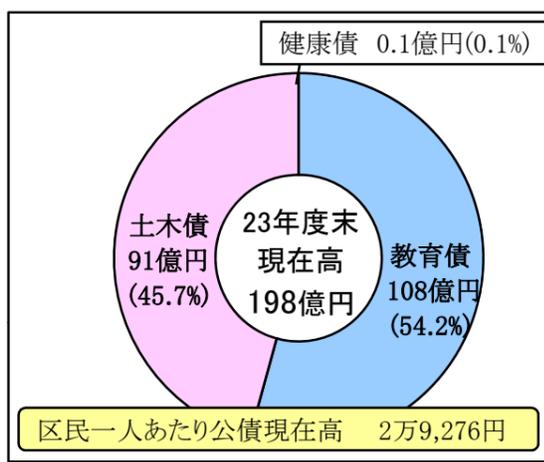
④ 財産の現在高 (平成24年3月31日現在)



基金とは…

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金はこの2つの合計です。
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、3月末現在高は932億円です。
運用基金は、一定額の基金を土地取得のために運用するもので、200億円あります。

⑤ 公債の現在高 (平成23年度末現在高)



公債(区債)とは…

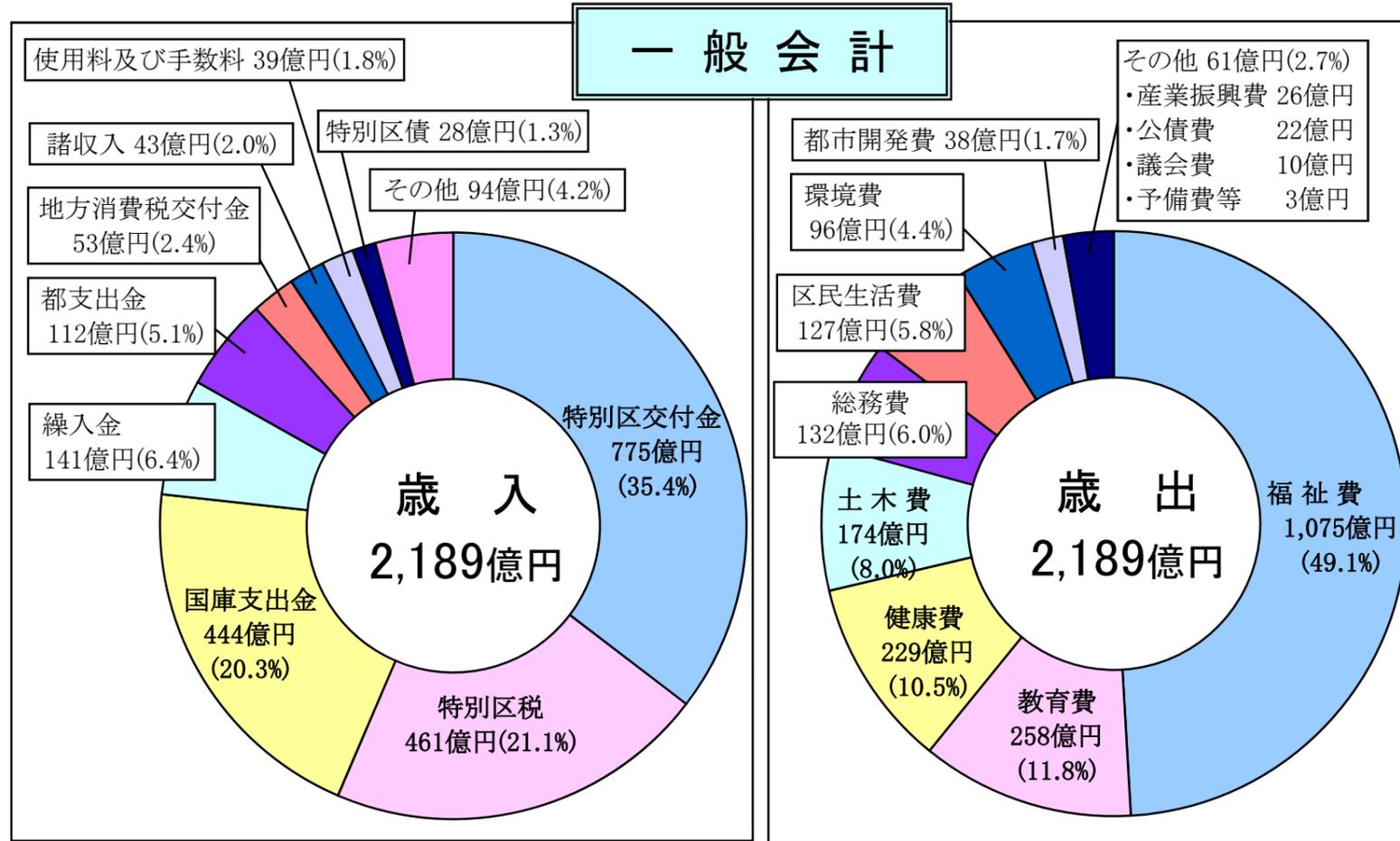
家計でいうと住宅ローンなどの借金です。
道路整備や学校の大規模改修など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借り入れ、負担の公平を図っています。

区民一人あたり公債現在高 2万9,276円

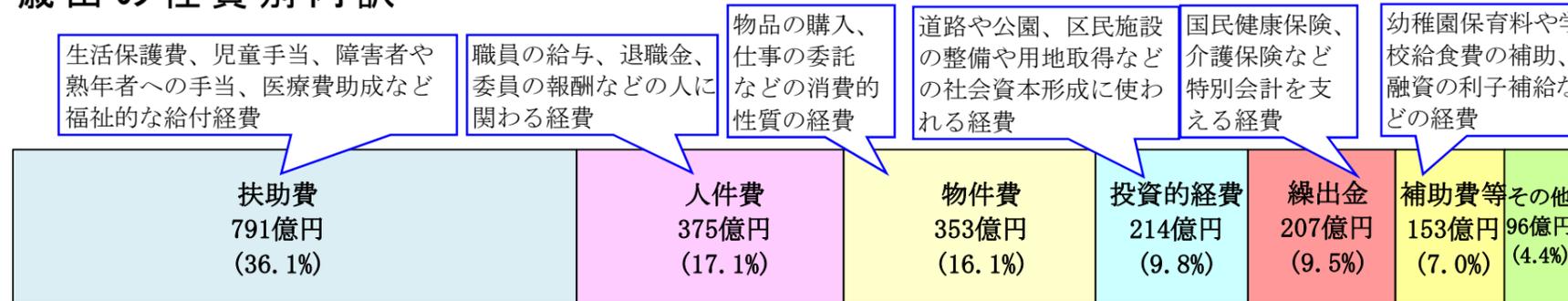
区民一人あたり財産現在高 87万6,443円

平成24年度 当初予算の概要

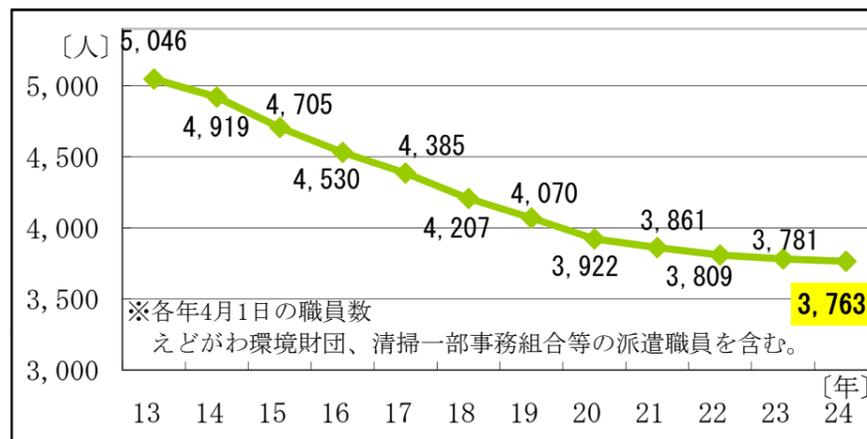
※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。



歳出の性質別内訳



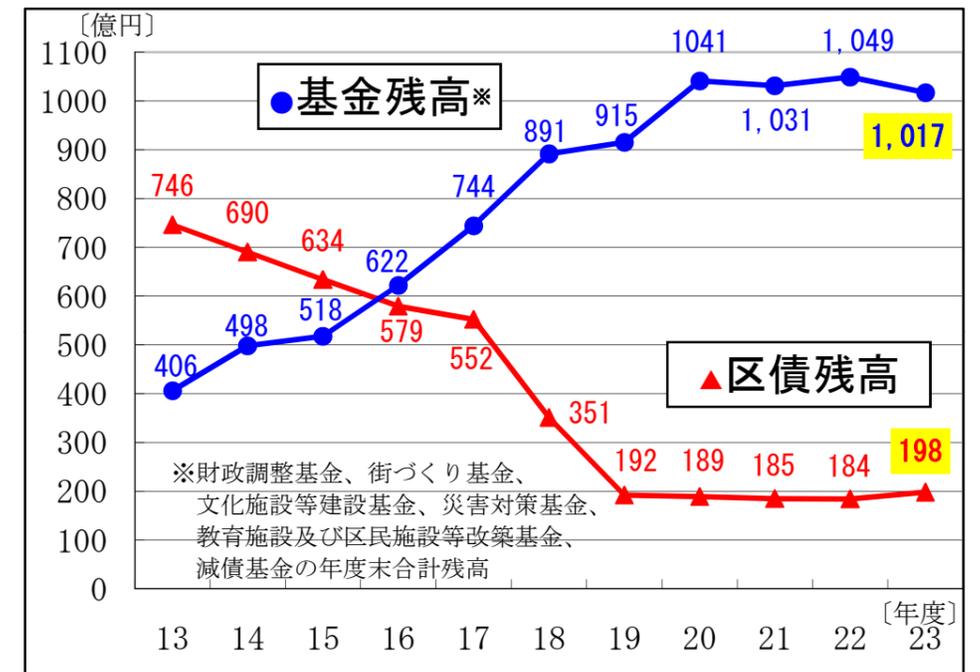
職員数の推移



区の職員数は、清掃事業が移管された12年度に5,057人まで増加しましたが、行財政改革などにより、13年度以降、減少して24年度には3,763人となり、1,294人の減となっています。この結果、人口千人あたり職員数は、23区の中で2番目に少ない良好な状況となっています。

おもな新規・拡充・重点事業

- がん予防対策** 24年度予算額 < 4,152万円 >
検診の受診率向上のため協議会等を設置するほか、データベース化により受診勧奨します。
- ものづくり技術継承支援事業** < 150万円 >
中小製造事業者にも、ものづくり技術を継承するための研修や講習等の経費の一部を助成します。
- 災害復興特別対策助成（利子補給）** < 1億5,400万円 >
東日本大震災の影響を受け、都の震災関連融資を利用した事業者を対象に利子を補給します。
- 空き店舗対策支援事業** < 886万円 >
商店街の空き店舗情報を「えどがわ産業ナビ」に掲載し、店舗家賃の助成等を行います。
- F M えどがわ緊急放送システムの導入** < 903万円 >
震災などの緊急時に通常番組に優先して緊急放送ができる装置を設置します。
- 学校施設の改築** < 51億3,661万円 >
築50年を経過し、老朽化した区立の小・中学校を改築します。今年度は松江・船堀・第二葛西小学校の改築を進め、春江小学校・松江第五中学校の改築計画を策定します。
- JR小岩駅周辺まちづくり** < 12億 907万円 >
まちづくり基本構想に沿い、フラワーロードなどJR小岩駅周辺地区のまちづくりを進めます。
- スポーツ祭東京2013（東京国体）の開催準備** < 1億5,229万円 >
25年9月に開催の東京国体に向け競技会場を設営し、リハーサル大会を開催します。



区債残高は、18年度及び19年度に繰上償還を実施したため、22年度末で184億円まで減少しましたが、23年度には198億円に増加しています。主要積立基金の残高は、「財政調整基金」などの取崩により23年度末では1,017億円に減少しました。

(基金残高には、出納整理期間中の積立額を含む)